

2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月15日

上場会社名 株式会社ジー・スリーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3647 URL <https://www.g3holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠原 弘和
 問合せ先責任者 (役職名) 経理課シニアマネージャー (氏名) 菊地 正幸 TEL 03-5781-2522
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績（2019年9月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	1,069	△68.3	△251	—	△129	—	△134	—
2019年8月期第3四半期	3,367	90.5	△336	—	△484	—	△119	—

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 △134百万円 (—%) 2019年8月期第3四半期 △119百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	△8.77	—
2019年8月期第3四半期	△8.30	—

(注) 当社は、2019年3月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年8月期第3四半期の「1株当たり四半期純利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期第3四半期	5,539	2,199	39.7	130.46
2019年8月期	5,937	1,960	33.0	136.03

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 2,199百万円 2019年8月期 1,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2020年8月期の配当予想額につきましては、現時点では未定であります。

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,950	1.9	280	—	196	—	346	31.6	21.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期3Q	17,860,720株	2019年8月期	15,993,720株
② 期末自己株式数	2020年8月期3Q	1,003,559株	2019年8月期	1,583,239株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期3Q	15,383,525株	2019年8月期3Q	14,427,448株

(注) 当社は2019年3月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年8月期3Qの期中平均株式数（四半期累計）は、当該株式併合が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年9月1日~2020年5月31日)におけるわが国経済は、消費税増税が発端と思われる2019年10月以降の消費マインドの落ち込み、原材料価格の高止まりや人件費及び物流費の上昇、天候不順や相次ぐ台風等の自然災害、世界的な通商問題や中国経済の先行きにより、依然として厳しい経営環境が続く中、新型コロナウイルス感染症の世界的拡散により急速な社会情勢の変化が生じ、ヒト・モノの往来が限定されることによって経済活動が停滞し、今後の先行きは極めて不透明な状況となっております。

このような事業環境の中、当第3四半期連結累計期間における連結業績につきましては、連結売上高は1,069百万円(前年同四半期比68.3%減)と減収となりました。しかし、当グループ会社の全体において固定費圧縮を進め、連結営業損失は251百万円(前年同四半期は連結営業損失336百万円)、連結経常損失は129百万円(前年同四半期は連結経常損失484百万円)と、損失幅を縮小させることができました。一方、当第3四半期連結累計期間におきましては、多額の特別損益項目がなかったため、親会社株主に帰属する四半期純損失は134百万円(前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純損失は119百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの経営成績は以下のとおりであります。

①環境関連事業

環境関連事業は当社及びエコ・テクノサービスにて展開しております。

当社は、エネルギー関連分野における再生可能エネルギー事業を主軸事業としており、太陽光発電所の販売事業と転売事業、太陽光発電所への投資事業、太陽光発電事業者向けの発電商材販売事業、太陽光発電所の稼働による売電事業を展開しております。

エコ・テクノサービスは、当社が運営又は運用会社が運営する太陽光発電所において、安定した発電事業を運営できるように、最新の技術と専門技術者によるオペレーションとメンテナンス及び障害対応事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、当社及び当社グループが保有し運営を行っている太陽光発電所6カ所の売電収入を売上高として計上しておりますが、前連結会計年度に固定資産として保有していた自社保有発電所の一部売却による売電収入の減少などにより、環境関連事業の売上高は783百万円(前年同四半期比69.7%減)、セグメント損失(営業損失)は6百万円(前年同四半期営業利益74百万円)と大幅な減収減益となりました。

②SBY事業

SBY事業は、SBYにて展開しております。

SBYは、店舗展開を中心としたエンターテイメントショップの運営、並びにプロデュース、ディレクション、プロモーションや自社及び海外コスメブランドの取扱いによるビジネスアライアンスをビジネスモデルとして展開しております。

エンターテイメントショップの運営においては、C2(13~19歳)及びF1(20~34歳)層の女性を主なターゲットとして日本を代表する流行最先端都市「渋谷」=SBY(SHIBUYA)をブランドネームとし、その中核店舗は「アタラシモノ発見☆カフェ」をコンセプトにSHIBUYA109にて運営しております。エンターテイメントショップは単なる店舗販売事業ではなく、最先端の情報がそろった店舗型情報発信スペースであり、流行に敏感な女性の心を掴み、夢中にさせる総合エンターテイメントを追求することにより、SBYから生まれた情報・商品がメディアや流通等のインフラに乗り、全国へ/世界へ発信されています。ビジネスアライアンスにおいては、独自に収集分析するトレンド情報を活用し、主にC2及びF1層の女性を主なターゲットとして事業を展開している企業を総合的にプロデュースするプラットフォームを提供するとともに、Diamond Lash(つけまつげ)を始めとする自社ブランド商品(Diamondシリーズ)の国内外への卸販売、また、海外新ブランドのコスメ雑貨の国内卸販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、2020年1月1日付でSBYを第三者へ譲渡したことから、会計期間は2019年9月1日から2019年12月31日までの変則期間となりますが、SBY事業の売上高は256百万円(前年第3四半期比64.2%減)、セグメント損失(営業損失)は12百万円(前年第3四半期は56百万円の損失)となりました。

③FATBURGER事業

FATBURGER事業は、GMFにて展開しております。

GMFは、FATBURGER NORTHAMERICA, INC.との日本国内における出店ライセンス契約により、ロサンゼルス発祥の世界18ヶ国で150店舗を超える店舗展開中のバーガーブランド「FATBURGER」の国内運営をビジネスモデルとして展開しております。国内1号店はMAGNET by SHIBUYA109にて2018年4月28日にオープンいたしました。

当第3四半期連結累計期間においては、2020年1月1日付でGMFを第三者に譲渡したことから、会計期間は2019年9月1日から2019年12月31日までの変則期間となりますが、FATBURGER事業の売上高は29百万円（前年第3四半期比55.8%減）、セグメント損失（営業損失）は9百万円（前年第3四半期は32百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から397百万円減少し、5,539百万円となりました。これは主に2020年2月13日に実施した第三者割当増資に伴い現金及び預金が121百万円増加し、未収入金が1,187百万円減少したことによるものです。当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から636百万円減少し、3,340百万円となりました。これは主に長期設備関係未払金が496百万円増加し、一年内返済予定長期借入金が405百万円減少したことによるものです。当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から238百万円増加し、2,199百万円となりました。これは主に2020年2月13日に実施した第三者割当増資によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月25日に新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が全国で解除されましたが、今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況やその経済環境への影響が変化した場合には、当社の環境関連事業を取り巻く市場環境は厳しさを増す可能性があります。連結業績予想につきましては、2020年1月28日に公表した業績予想を据え置いておりますが、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	714,676	836,509
受取手形及び売掛金	508,729	163,446
商品及び製品	196,984	—
販売用不動産	—	2,954,655
仕掛販売用不動産	14,411	337,299
営業出資金	—	520,557
未収入金	1,192,114	5,109
短期貸付金	—	110,000
未収還付法人税等	—	44,135
未収消費税等	59,051	256,316
その他	436,147	101,211
貸倒引当金	△203,462	△889
流動資産合計	2,918,652	5,328,350
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	2,286,120	—
その他	163,523	42,850
有形固定資産合計	2,449,643	42,850
無形固定資産		
その他	11,926	1,303
無形固定資産合計	11,926	1,303
投資その他の資産		
長期未収入金	15,577	13,797
出資金	540	250
関係会社出資金	299,878	—
敷金及び保証金	153,689	102,200
その他	89,540	51,062
貸倒引当金	△2,426	—
投資その他の資産合計	556,799	167,310
固定資産合計	3,018,369	211,464
資産合計	5,937,021	5,539,815
負債の部		
流動負債		
買掛金	111,033	114,090
短期借入金	140,000	127,607
1年内返済予定の長期借入金	509,149	103,358
未払金	188,420	12,403
設備関係未払金	135,007	146,612
前受金	24,033	61,871
未払法人税等	278,589	1,037
移転費用引当金	38,500	—
賞与引当金	—	1,400
その他	231,650	52,755
流動負債合計	1,656,385	621,136

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
固定負債		
長期借入金	628,907	591,884
長期未払金	32,124	30,400
長期設備関係未払金	1,473,647	1,970,123
長期前受収益	11,868	23,642
資産除去債務	39,173	39,224
繰延税金負債	2,476	12,336
その他	132,157	51,907
固定負債合計	2,320,354	2,719,517
負債合計	3,976,739	3,340,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	876,257	1,062,957
資本剰余金	497,562	672,222
利益剰余金	935,676	685,322
自己株式	△349,214	△221,340
株主資本合計	1,960,282	2,199,161
純資産合計	1,960,282	2,199,161
負債純資産合計	5,937,021	5,539,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
売上高	3,367,711	1,069,058
売上原価	2,886,694	880,078
売上総利益	481,016	188,979
販売費及び一般管理費	817,942	440,715
営業損失(△)	△336,925	△251,736
営業外収益		
受取利息	1,843	1,001
貸倒引当金戻入額	20,777	200,000
償却債権取立益	500	280
違約金収入	676	—
その他	6,430	992
営業外収益合計	30,228	202,274
営業外費用		
支払利息	160,741	55,879
支払手数料	14,400	23,360
その他	2,379	1,051
営業外費用合計	177,520	80,292
経常損失(△)	△484,217	△129,753
特別利益		
関係会社出資金売却益	232,687	—
関係会社株式売却益	3,829	24,855
受取和解金	100,000	—
固定資産売却益	19,607	—
移転費用引当金戻入益	—	21,627
特別利益合計	356,124	46,482
特別損失		
固定資産売却損	—	5,100
固定資産除却損	—	93
事務所移転費用	1,504	—
店舗閉鎖損失	6,699	—
特別損失合計	8,204	5,194
税金等調整前四半期純損失(△)	△136,297	△88,464
法人税等	△16,536	46,499
四半期純損失(△)	△119,760	△134,964
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△119,760	△134,964

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純損失(△)	△119,760	△134,964
四半期包括利益	△119,760	△134,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△119,760	△134,964
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月28日 定時株主総会	普通株式	115,283	8	2019年8月31日	2019年11月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は2020年2月13日付で、エコ・キャピタル合同会社から第三者割当増資の払い込みを受けたことにより、資本金が186,700千円、資本剰余金が174,658千円増加し、また自己株式は128,641千円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自2018年9月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境関連 事業	SBY事業	FATBURGER 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,585,892	715,768	66,050	3,367,711	3,367,711	—	3,367,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	124	—	124	124	△124	—
計	2,585,892	715,892	66,050	3,367,835	3,367,835	△124	3,367,711
セグメント利益又は損失(△)	74,693	△56,729	△32,470	△14,506	△14,506	△322,418	△336,925

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△322,418千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△322,418千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれん金額の重要な変動)

「環境関連事業」セグメントにおいて、永九能源株式会社の発行済株式の全部を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めました。当該事象により、のれん金額が715,621千円増加しております。

なお、当該のれん金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直し反映された後の金額により開示しております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	環境関連 事業	SBY事業	FATBURGER 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	783,852	256,029	29,176	1,069,058	—	1,069,058
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	783,852	256,029	29,176	1,069,058	—	1,069,058
セグメント損失(△)	△6,794	△12,380	△9,636	△28,811	△222,924	△251,736

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△222,924千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△222,924千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する事項

前連結会計年度の末日と比して、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は以下のとおりであります。

当社グループは、当第3四半期連結累計期間中の2020年1月1日に「SBY事業」及び「FATBURGER事業」を構成していた連結子会社である株式会社SBYの全株式を譲渡し、同日より同社及び同社の子会社である株式会社Green Micro Factoryを連結の範囲から除外しております。

この結果、「SBY事業」及び「FATBURGER事業」に伴うセグメント資産の金額はなくなっております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。